



パーキンソン病と 福祉用具の選定ポイント②

今回も **パーキンソン病の症状** と、**それに伴う選定ポイント** についてご紹介します。

パーキンソン病は脳内でドーパミンという物質が減るために、脳から体への指令がうまく伝わらなくなる進行性の病気です。

パーキンソン病の4大症状

① 振戦

手足が規則的に震える



② 筋固縮(筋強剛)

関節を動かすと抵抗感を示す



③ 無動

動きが鈍くなり一つの動作開始に時間がかかる



④ 姿勢反射障害

転倒防止が困難



その他にも **パーキンソン病** では次のような特徴がみられがちです

不安・不快・緊張などの状態だと体が動きづらくなる



安心・快適・リラックスなどの状態だと体が動きやすくなる



また、パーキンソン病では、目印がある状況や掛け声をかけるなどの動作のきっかけがあると“体が動きやすくなる”という特徴があります。

例えば



目印があると
歩き出しやすい

ないと
一歩目が出にくい

例えば



階段だと
足が出しやすい

スロープだと
一歩目が出にくい

特に下りのスロープは
前に突進して転倒しやすいので要注意!



今回は、入浴環境のポイントをご紹介します。

バスボード

- 入浴ボードは背中がこわばるため一人で使うのは大変ですが、介助付きで使用する場合には、浴槽への移動が座って行え安全です。介助が必要な人で、自宅のお風呂を使いたい場合には、デモ機などで一度確認をお勧めします。

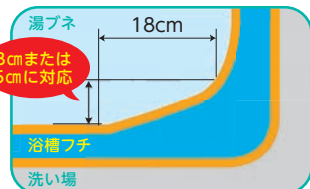


手すり

- 洗い場での移動や浴槽への入りをサポート

入浴グリップ

- 横向きのまたぎ動作がしやすいよう、浴槽の端側に寄せて取付できるタイプがおすすめ。前向きにまたぐと、足をより高くあげなければならず、入りにくく、転倒リスクもあります。
- パナソニックの入浴グリップは浴槽カーブ3cmまたは5cmに対応できるので浴槽の端に寄せてつけやすいです。



すべり止めマット

- 姿勢が崩れると戻しにくいので、足元のすべり対策に。
- パナソニックのすべり止めマットは
 - ・ステンレス浴槽でも使える高いすべり止め効果
 - ・軽量(自重で沈みます)
 - ・防かび加工



浴槽台

- パーキンソン病は、病状の進行とともに円背にもなりがち。円背が進むと脚が浮いて入浴姿勢が崩れやすくなるので、浴槽台で入浴姿勢を整えましょう。すべり止めマットの併用もお勧めです。



浴槽台不使用時



浴槽台使用時



パーキンソン病では、血圧調整能力も低下しがち。入浴中に血圧が急激に下がって失神することもあるので、介助見守り時は要注意!



シャワーチェア

- 不快感で体が動きにくくならないよう、やわらかく、冷たさを感じにくいクッション
- 通常の背もたれだと奥まで座れない場合は、腰当タイプがおすすめです。



腰当タイプ

方向転換が苦手な、ふらつく姿勢を戻しにくくそのまま転倒の恐れがある場合は、座ったまま安全に方向転換できる回転タイプがおすすめ。360度回転できておりたためるのはパナソニックだけ。



アクアムーブ (浴室用いす+移乗台)

洗い場での移動、洗身時の姿勢保持、座位入浴動作を1台でサポート



施設での個浴で使いやすいと大人気!



引き戸

- パーキンソン病の人は方向転換が苦手、かつふらつくとそのままとまると後ずさりして転びやすくなるので引き戸をおすすめします。

詳細は

「介護・生活快適商品カタログ2018-2019」をご覧ください。

上記品揃え以外も取り揃えております。

次回は

パーキンソン病と
福祉用具の選定ポイント③
住環境整備編

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

法人のお客様 製品・在庫に関するお問合せ TEL06-6908-8141
個人のお客様 製品に関するお問合せ

☎ 0120-365887 受付 | 9:00~12:00/13:00~17:00
時間 | (土、日、祝日休み)

このチラシの記載内容は2019年5月現在のものです。

ご用命は